

【特集】目指すは「憩いの新市庁舎」 「ヨリネスしばた」へ行く！



「新生しばた」の幕開け ヨリネスしばた「開庁式」

- 入口前では、新発田市消防団ラッパ隊のファンファーレに合わせて、華々しくテープカットが行われました(写真上)
- 設計を担当した「aat+ ヨコミゾマコト建築設計事務所」のヨコミゾマコトさん(写真右下)
- 定礎式では、市長と市議会議長が庁舎の図面や当日の新聞などを入れた定礎箱を設置し、定礎板を壁に埋め込みました(写真左下)

1月4日、新市庁舎「ヨリネスしばた」がついにオープンしました。当日は、業務開始に先立ち、市民や来賓、職員などが参列して、盛大に「開庁式」が執り行われました。式典では、二階堂市長が「『新発田のまちの顔づくりに』が完了し、今年には本当の意味での『新生しばた』のスタートの年です」とあいさつ。その後、設計担当者や施工業者に感謝状を贈呈したほか、定礎式やテープカットなどのセレモニーが行われました。式典後には、新市庁舎の近隣の商店などに、市長が「引っ越しそば」を持参したほか、「札の辻広

場」では、市内の蔵元の協力で甘酒のふるまいが行われ、多くの来庁者に喜ばれていました。その後も途切れることなく見学者が来庁し、記念すべき開庁日は、新市庁舎への期待の大きさがうかがえる一日となりました。「ヨリネスしばた」は、行政手続きに訪れる場所としてだけでなく、市民が集う交流の拠点として、さまざまな機能を備えています。皆さんも「身近な庁舎」として気軽にお越しください。

【問合せ先】
総務課新庁舎
移行準備係
(☎ 28-9540)

51年間お疲れ様でした 旧市庁舎「閉庁式」



昨年12月28日の業務終了後に、旧市庁舎の「閉庁式」が行われました。庁舎に掲げられた国旗と市旗が降ろされ、51年の歴史に幕を閉じました。

「引っ越して来ました」 あいさつ回り



「末永くお付き合いをしたい」という思いを込めて、市長が米倉産のそば粉を使った「引っ越しそば」を配りました。

市内の3つの蔵元が提供 甘酒ふるまい



開庁の祝賀ムードの中、おおぜいの来庁者が温かい甘酒を飲みながら、一息ついていました。



- パーソナリティの伊藤和生^{かずさ}さんは「市民に愛される身近なスタジオにしていきたいです。皆さん気軽に見に来てください」と話してくれました（写真右）
- ガラス張りの真新しいスタジオ。生放送の様子を自由に見学できます（写真左）



Wi-Fi 完備の快適空間 ロビー・ラウンジ

1～4階と7階には、Wi-Fiを備えたラウンジがあり、自由に利用できます。休憩や待ち合わせはもちろんのこと、学習などにもご利用ください。

また、1階札の辻ラウンジや7階市民ギャラリーは、イベントや作品展示などの会場として、有料で利用できます。



公開生番組を見学できます！ エフエムしばた サテライトスタジオ

新しいサテライトスタジオからは、毎日、公開生番組を放送しています。

また、週末は札の辻広場で行われているイベントの様子もお届けします。サテライトスタジオについてのお問い合わせは、エフエムしばた（☎ 23-8800）へ。

市民が集える施設がいっぱい 「ヨリネスしばた」

に寄りねっす！



- 7階の飯豊ラウンジからは、市内を一望することができます（写真右上）
- 午後8時まで、学習などにも利用できます（写真左上）
- 札の辻ラウンジでは、台湾の産業関係者と阿賀北地域の自治体との商談会が行われました（写真右下）

- バレーボールコート4面分の大空間。3階まで吹き抜けになっていて、解放感も抜群です（写真右）
- 開庁後、初のイベントとなった「城下町しばた全国雑煮合戦」は、おおぜいの来場者でにぎわいました（写真左上）
- 電気、ガス、上下水道を完備しているの、食のイベントや移動販売にも利用できます（写真左下）



楽しいイベントが目白押し！ 札の辻広場

全天候型の半屋内広場である札の辻広場。週末には楽しいイベントが開催され、まちなかに彩りを添えるほか、イベントなどの開催がない日は、公園の広場のよう誰でも自由に使える空間です。平日、休日を問わず気軽にお越しください。

また、イベントの会場や移動販売の場所などとして、有料で市民に開放しています。詳しくは、お問い合わせください。